

令和4年操業再開安全大会を開催しました。

6月1日「令和4年操業再開安全大会」を開催しました。

大会冒頭では、北九州PCB処理事業所所長石垣より、「本日が操業の実質的な令和4年度の開始にあたります。今年度は、1.安全な作業、工事を実施する。2.早期処理完了を目指し、効率的な計画、処理を進めていく。3.第2期施設の解体撤去計画を立案する。をテーマとして操業していきます。」と訓示がありました。

運転会社(KEPS)の代表より、「安全は唯一無二、より安全に、より働きやすくの精神のもと、一人ひとりが高い誇りと大きな使命感、責任感を持ち、PCB無害化処理のプロ集団として職務を全うすることをここに誓います。」と安全決意表明が行われました。

事業に携わる全員が決意を新たにし、安全操業を誓いました。



JESCO所長訓示



KEPS代表による安全決意表明



KEPS社長訓示

同日13:25に、プラズマ溶融炉に処理再開後の最初のドラム缶が投入されました。これより、プラズマ溶融分解処理が開始、令和5年度の処理完遂に向けて、安全を最優先にして、PCBの無害化処理を進めてまいります。



処理再開後の最初のドラム缶を投入する様子

★事業所見学受付中

北九州PCB処理事業所には「情報公開ルーム」、「見学者通路」を設置しており、見学を随時受けています。

見学時間 9:00 ~ 16:30 (土日祝日を除く)

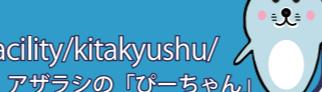
見学のお申込みお問合せ先 Tel 093-752-1113 ※お電話の際は見学の申し込みとお伝えください。

【連絡先】

中間貯蔵・環境安全事業株式会社 (JESCO) 北九州PCB処理事業所

[所在地] 〒808-0021 福岡県北九州市若松区響町1丁目62-24

[連絡先] ☎ 093-752-1113 [HP] <https://www.jesconet.co.jp/facility/kitakyushu/>



■ 操業再開に際してのご挨拶

北九州PCB処理事業所におきましては、6月1日からPCB廃棄物の無害化処理を再開しましたことをご報告申し上げます。

経緯を簡単にご説明いたしますと、計画的処理完了期限を今年3月に控えた昨年9月、国が北九州市に対して2年間の処理継続の要請を行いました。

国が各自治体と進めてきた掘り起し調査等により、PCB含有機器等が新たに発見されるなどで処理対象物が増えたため、北九州市とお約束した期限内に終了できないことが明らかになったためです。

その後、市民説明会や市議会でのご意見聴取や議論を経たのちに、4月末に北九州市から国へ、処理を継続するための三つの条件【①安全性の確保②期間内での確実な処理③地域の理解】が提示され、国がその条件を承諾し、2年間の処理継続が決定しました。

北九州PCB処理事業所では、3月末から2か月間、安全な処理を進めるため、施設の全面的な安全点検・補修を実施しました。そして北九州市と環境省に最終的なご確認をいただき、6月1日に処理再開の運びとなりましたことをご報告いたします。

今後も皆様のご理解をいただきながら、安全な操業と期間内での確実な処理を進めて参る所存でございます。

引き続き、なお一層のご理解を賜りますよう、よろしくお願ひ申し上げます。

中間貯蔵・環境安全事業(株)北九州PCB処理事業所

所長 石垣 喜代志

■ 令和4・5年度処理継続に向けた安全点検等を実施しました。

北九州P C B処理施設では、毎年の定期点検及び長期保全計画に基づき予防保全を確実に実施してきました。令和4・5年度の処理の継続に向け、安全・確実に処理を続けるために令和4年3月末に操業を停止し、施設内各設備について、専門業者による安全点検等を実施しました。

2期施設内 主な安全点検等実施状況

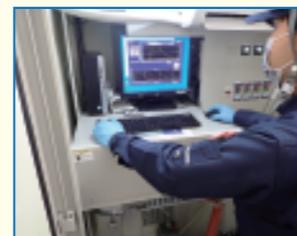
5F

オンラインモニタリング室

活性炭吸着エリア

オンラインモニタリング装置点検

専門業者による動作確認、電圧等確認、標準ガス測定などを実施し、装置に異常がないことを確認しました。



動作確認



電圧等確認



標準排ガス測定

活性炭交換

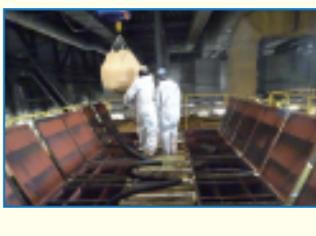
活性炭の吸着力を維持するために、定期的に活性炭を交換しています。



クレーンによる搬入



使用済活性炭を吸引機で吸出し



新しい活性炭に交換

3F・4F

真空加熱分離装置(VTR)の健全性確認

液系配管フランジの滲みの確認、各種ポンプの振動測定、絶縁抵抗の測定を実施したのちに、処理物を投入しない状態で運転を行い、自動処理運転が正常に完了することを確認しました



液系配管フランジの滲み確認



各種ポンプの振動測定



絶縁抵抗測定

1F・2F

プラズマ溶融分解炉耐火物補修

プラズマ溶融分解炉の耐火物（耐火レンガ・キャスタブル壁）の損耗に対処する為、耐火物の更新を実施

施工前



炉内全体

施工中



側壁キャスタブル解体

施工後



炉底レンガ施工

無停電電源装置

古くなった蓄電池を新品に交換しました



蓄電池交換風景

2期施設